

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3		・多い日もあれば少なく感じる日もある。支援の内容によって変わる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4		・室内のほとんどがフラット設計だが、段差があったり、手すり等の不足を感じることはある。別のものを活用することでクリアしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			・社員にはGPDCAシートという年間目標の作成と半期面談を実施。一年後には違う自分になれるよう管理している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・毎年実施。HPIにて公開。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・毎年実施。HPIにて公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	・第三者評価は実施できていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・内部外部問わず、積極的な研修参加と情報共有を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・最低でも半年に一度の面談の実施、もしくは書面による保護者への確認を行い、適切な計画作成の順序を守りながら個人の課題にアプローチしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・毎月会議を実施。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		・平日休日長期休暇という区切りでの話であればそういう線引きで課題の設定は行ってない。定められた期間における個別支援計画に基づく支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・毎日ミーティングで重点支援についてや、ヒヤリハット、現場での連携について話し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・必ず半年に一度以上の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			・指示書の管理を行い、年に一度は内容の変更がないか医師に確認している。また、なにかあった際などの連絡先の記録と携帯をしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	3	・新一年生については、可能な限り園などからの情報を保護者を通して頂いている。全ての利用者ということであればできていない。高校生から利用開始する方もいるので。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4		・毎年準備はできているが、引継ぎ会議などに呼ばれたことはない。こちらから声をかけたときに断られたこともある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	・様々な考え方があるため実施していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	3		実際に会えない人もいる。全員に対してではない。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			・保護者からの相談には必ず応え、その中で必要な場合様々な助言を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1	1	・スタッフ個人個人ができていないことばあてないこともある。基本的に管理者、児童発達支援管理責任者がメインで行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	・様々な考え方があるため実施していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・苦情窓口は契約書に記載。また契約時に説明。 ・迅速かどうかはご意見を頂いた方の判断にはなるが、事業所としてできる限りの対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・毎月広報誌をお渡ししている。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2		・コロナが無ければ四季に一度、地域の方を招く行事を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3	1	・マニュアル等の整備は行っているが全ては完成していない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		4		・半年に一度、避難訓練を年間計画に基づき行事として行っているが、全ての利用者にはできていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・虐待防止及び身体拘束適正化委員会の設置。 ・内部外部問わず定期的な研修を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			・虐待防止及び身体拘束適正化委員会の設置。 ・2022度、より詳細に決定していく予定。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・毎日の振り返りで出た情報を掲示している。